

**平成28年度各部会の活動状況と平成29年度各部会の取り組み**

**【就労部会】**

委員12名【就業・生活支援センター、公共職業安定所、手をつなぐ育成会、身体障害者福祉協会、就労移行支援事業所(2か所)、就労継続支援事業所(1か所)、諫早商工会議所、特別支援学校、障害者を雇用する企業、長崎県発達障害者支援センター「しおさい」、指定特定相談支援事業所(1か所)、事務局(障害福祉課)】

課 題	① 障害者求職リストは、これまで障害者雇用の無かった事業所からの問合せがあり、企業への情報提供にはなっているものの、結果にはなかなか結びつかない。 ② 事業所が増加しており、特別支援学校等卒業後の進路をスムーズに行うため、学生や保護者、学校関係者等への情報提供が必要。 ③ 福祉的就労から一般就労への支援強化のため、就労移行支援事業所だけでなく就労継続支援A型B型事業所の支援が必要。
-----	--

	活動計画	活動状況・取り組み
平成28年度  (部会開催 13回)	① <u>企業に向けての情報発信等</u> ・ 関係機関と連携し「障害者求職リスト」の活用をすすめ、企業等への情報提供実習先の確保につなげる。また、「障害者求職リスト」以外に、企業への働きかけを検討する。  ② <u>「就労移行支援事業所サービス説明会」の開催</u> ・ 相談支援事業所、学校等の関係者を対象に、市内就労事業所の説明会を開催。各事業所の活動紹介や情報交換を行い、関係者との連携を図る。  ③ <u>「就労事業所研修会」の開催</u> ・ 市内就労事業所職員のスキルアップを図る。	① <u>企業に向けての情報発信等</u> ・ 「障害者求職リスト」の発行。リストの見直しについて、検討。 ・ 障害者でも働くことができることを実際に企業に見て、知ってもらうことで雇用につなげるために、商工会議所の雇用促進大会で事業所の見学会を開催してもらうよう働きかけを行った。9月26日に、企業8人部会4人が参加して、特別支援学校の学習やA型事業所での作業の見学、職員との意見交換を行った。 ・ 「障害者求職リスト」の紹介など部会活動を広く周知するために、長崎県中小企業家同友会や諫早中核団地振興会等の関係団体の情報収集を行った。 ② <u>「就労移行支援事業所サービス説明会」の開催</u> ・ 7月25日に説明会を開催し、市からの制度説明の後に就労移行支援事業所8か所がサービス内容の紹介等を行った。特別支援学校生徒40人を含め、148人の参加があった。 ③ <u>「就労事業所研修会」の開催</u> ・ 各事業所で精神障害者や発達障害者、高次脳障害者への支援の困難さと平成30年4月から法定雇用率の算定基礎に精神障害者が加わることから精神障害への理解を深めることが必要と考え、研修会を開催。県央保健所の職員を講師に招き「精神障害の理解と就労支援のあり方を考えよう」を1月25日に行った。就労移行支援事業所6人、就労継続支援A型事業所8人、B型事業所14人、部会から13人の計41人が参加した。
平成29年度	① <u>企業に向けての情報発信等</u> ・ 「障害者求職リスト」を総合的に働くための情報誌として発行する。 ② <u>「就労移行支援事業所説明会」の開催</u> ・ 相談支援事業所、学校等の関係者を対象に、市内就労事業所の説明会を開催。各事業所の活動紹介や情報交換を行い、関係者との連携を図る。 ③ <u>「就労事業所研修会」の開催</u> ・ 市内就労事業所職員のスキルアップを図る。 ④ <u>サービス部会との意見交換会の開催</u>	① <u>企業に向けての情報発信等</u> ・ 6/25に情報誌「働きたい(第1号)」発行。年4回発行予定。 障害者求職リストを掲載。 商工会議所を通じて1700カ所の企業に配布。 今後は諫早中核団地振興会等へも情報を発信し障害者の雇用に関心をもってもらよう働きかけたい。 ② <u>「就労移行支援事業所説明会」の開催</u> ・ 7/24に開催。 特別支援学校の学生や保護者、学校関係者など約80人の参加があった。 就労移行事業所8カ所が、サービスの説明や事業所紹介を行い、その後各事業所ごとにブースで個別に対応。相談支援事業所も参加し、個別相談に応じた。 ③ <u>「就労事業所研修会」の開催</u> 10月頃の開催を検討中 ④ <u>サービス部会との意見交換会の開催</u> ・ 11月頃の開催を検討中